NIE実践報告

1．タイトル：**新聞社に投稿しよう**

2．学校名

広島県山県郡北広島町立大朝中学校

3．実践者名（代表者名）

川上貴志

4．学年

第1・2・3学年（全学年）

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会　62人

6．単元（本時の学習課題）名

新聞社に投稿しよう

7．目標(狙い)

・新聞社への投稿文の作成を通じて、新聞への関心・意欲を高める。
・新聞社への投稿文の作成を通じて、思考力や表現力の向上を図る。

8．評価の視点

読者の立場に立って、自分の伝えたい内容をより分かりやすく表現する工夫を行うとともに、課題意識をもって資料を収集、活用し、自分のテーマにそった投稿文を作成することができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

新聞社に投稿1、2（内容の決定・下書き）2時間　　新聞社に投稿3（推敲・清書）1時間
新聞社に投稿4（テーマの決定）1時間　　新聞社に投稿5（投稿文の作成）1時間

10. 単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①スクラップした新聞記事を考察し、読者の立場に立って、記事の表現や書き方の工夫について理解させる。
②スクラップした新聞記事に関わる自分の考えをまとめ、投稿文の下書きを作成する。
③作成したを下書きを推敲するとともに、清書させる。また内容について自己評価させる。
④普段の生活を振り返り、クラスでの話し合いの中から投稿するテーマを決め、情報を収集する。
⑤前時に決めたテーマをもとに投稿文を作成する。

（留意点）
・新聞の役割を意識させ、読者の視点に立って投稿文を作成させる。
・新聞記事を考察させ、記事の表現や書き方の工夫に着目させる。
・推敲や自己評価をさせるときには、読者の視点を意識させるように工夫する。
・テーマをもとに情報を収集し、活用しながら、投稿文を作成させる。

11. 児童・生徒の反応、感想・意見

読者の視点から考えさせることで、新聞記事の書き方の工夫等に気付いたことは、生徒にとって新しい発見であった。自分の作成した投稿文が、実際に新聞に記載される生徒も多くなり、学習への意欲もさらに高まった。話し合いの場面では、活発に意見交換する姿が見られ、新聞記事の内容を話題にする生徒も見られた。

12. 成果と課題

自分が作成した投稿文が、実際の新聞に記載される生徒も増えるにしたがって学習意欲への高まりが見られ、表現も分かりやすく書く生徒が増えた。一方、投稿文の作成時においては、当初「書く」ことへの自信がもてない生徒にとって難しい課題となった面も見られた。話し合いや調べ学習を取り入れるとともに、より多くの生徒が興味・関心をもてる課題の内容、課題提示の方法をさらに工夫する必要がある。